

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<17週> 麻疹 - 定点当たり報告数は例年に比べると高いレベルではないもののゆるやかな増加傾向が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<麻疹> 全国での発生状況をみると、2002年定点当たり報告数は例年に比べ低いが、17週は定点当たり0.19(報告数584)と漸増傾向にある



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - 感染性胃腸炎 / インフルエンザ



速報
P.6-7

大アサリの喫食を原因とするノーウォーク様ウイルスとA型肝炎ウイルスによる食中毒事例 - 浜松市



海外感染症情報
P.8

輸入マラリア患者 - タイ南部からドイツ / ガボンのエボラ出血熱流行終息 / 他



感染症の話
P.9-13

多剤耐性緑膿菌
薬剤耐性緑膿菌は定点施設から毎月平均50件前後の報告があり、臨床現場で無視できない状況となっている



読者のコーナー
P.14



グラフ総覧(17週)
P.15-21



17週のデータ
P.22-29



発生動向総覧

第17週コメント 5月2日集計分

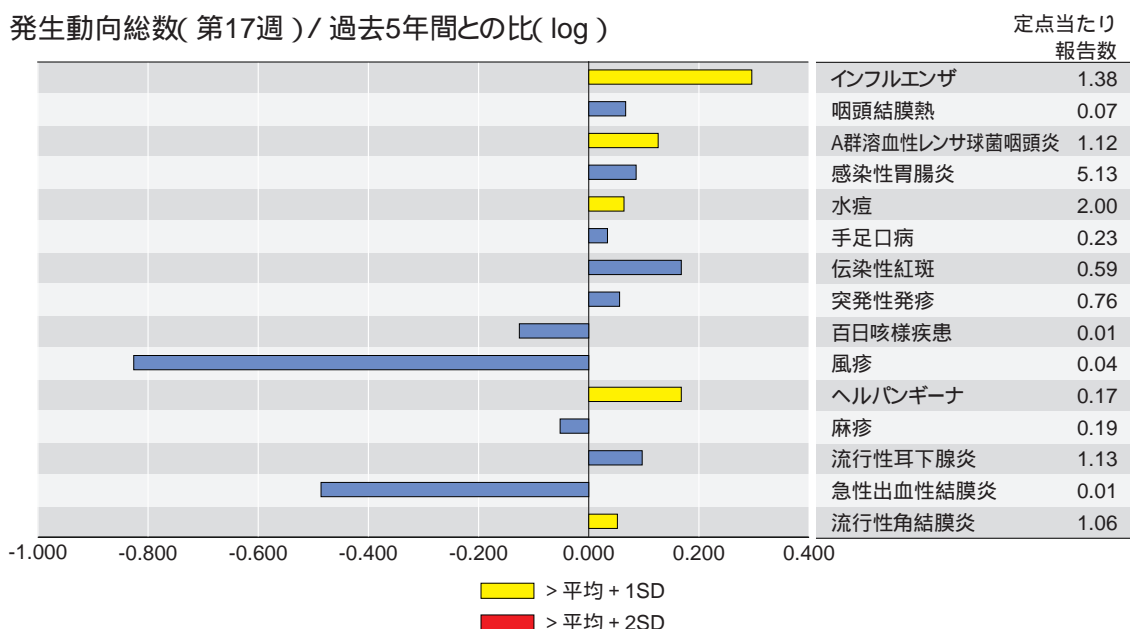
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢5例(推定感染地: インド1例(ソンネ)、タイ1例(ソンネ)、ウガンダ1例(ボイディ)、カンボジア1例(ソンネ)、不明1例(フレクシネル))、腸チフス5例(推定感染地: インド1例、インドあるいはネパール1例、国内2例、不明1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症42例
- 4類感染症: アメーバ赤痢2例(推定感染地: カンボジア、インド)
 - 急性ウイルス性肝炎8例
 - A型7例
 - B型1例(感染経路: 性的接触)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(いずれも孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群6例(無症候性2例、AIDS 3例、その他1例)
 - 感染経路: 性的接触4例(異性間3例、同性間1例)、不明2例
 - ジアルジア症7例(推定感染地: ニジェール2例、バングラデシュ、ニカラグア、シリア、モロッコ、ホンジュラス各1例)、髄膜炎菌性髄膜炎1例、ツツガムシ病7例
 - デング熱1例(推定感染地: タイ)
 - 梅毒4例(早期顕症2例、無症候2例)、破傷風1例(外傷)
 - マラリア1例(熱帯熱マラリア)、推定感染地: ザンビアまたはタイ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザの定点当り報告数は東北と九州を中心に、地域により前週より増加しているところが見られたため、全体として若干の増加がみられる。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘と流行性角結膜炎の定点当り報告数は、過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている。咽頭結膜熱は第15週より定点当り報告数の立ち上がりを見せており、手足口病とともに、地域により警報が散見されるところもある。今後夏に向かって流行するヘルパンギーナとともに、今後の動向に注意が必要である。

発生動向総数(第17週) / 過去5年間との比(log)

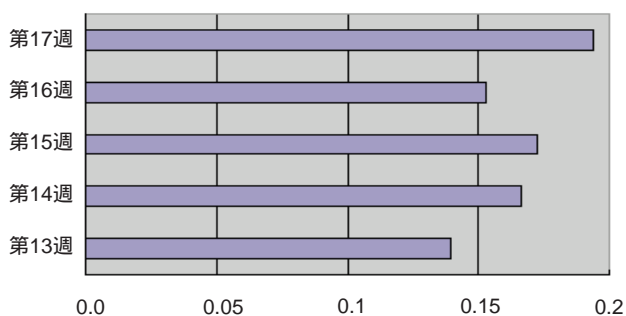


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

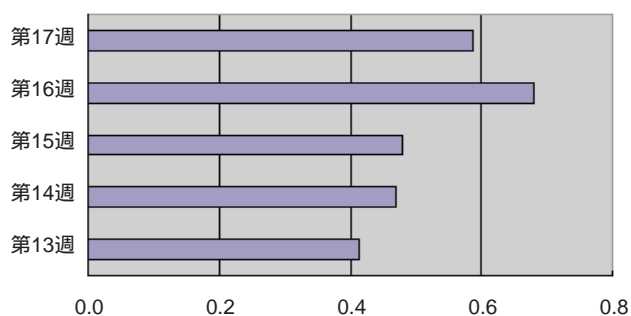
最近の注目疾患－5週間の動き

麻疹の定点当たり報告数は例年に比べると高いレベルではないもののゆるやかな増加傾向が続いている。伝染性紅斑は例年と同様のパターンで上下変動しつつゆるやかに上昇中である。流行性耳下腺炎も若干の減少をみるが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は横這いであり、水痘の定点当たり報告数は前週より増加がみられる。

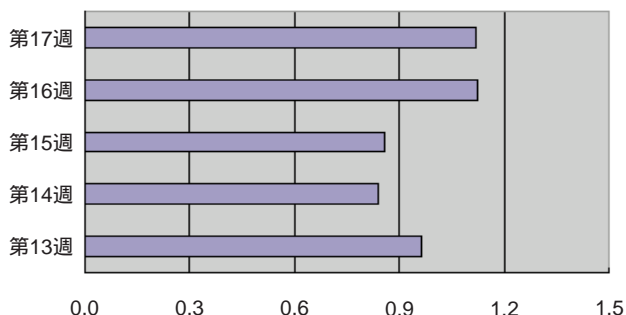
麻疹



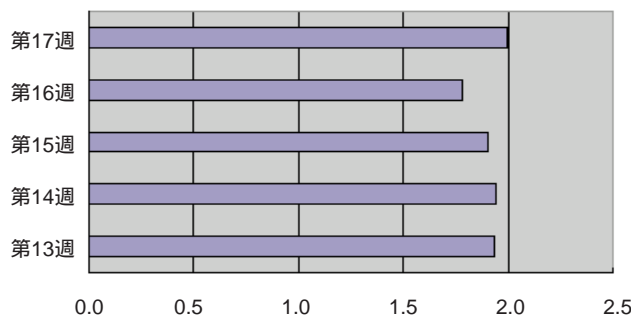
伝染性紅斑



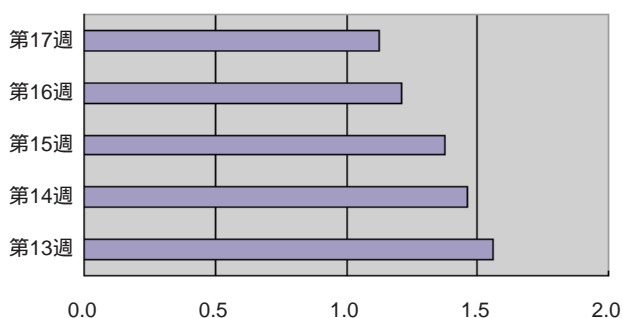
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



注目すべき感染症

麻疹

麻疹は例年年明けから春にかけて報告が増加し、5月頃流行のピークを迎える。昨年は1992、1993年以来の大きな流行となり、成人麻疹患者の増加も認められた。2002年の17週までの発生状況に関しては、全国レベルでの定点当たり報告数は漸増傾向にあるが、定点当たり0.19(報告数584)で、例年に比べると低い(18ページグラフ参照)。17週現在、定点当たり報告数が多くなっているのは、青森県(1.1)、愛知県(0.9)、千葉県(0.5)、富山県(0.7)、鳥取県(0.7)などで、青森県を除きいずれも前週より増加している。本年第1週からの累積患者報告数は5,495人であり、その年齢階級別内訳を円グラフに示す。全国約500の基幹病院定点から報告される成人麻疹患者数は、累積で143人となっている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の11保健所、大阪府と青森県の3保健所、茨城県、千葉県内などの2保健所など全国計27保健所で発生しており、前週より増加している。今後4週間以内に警報が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の6保健所、神奈川県内の4保健所、香川県内の3保健所など全国計43保健所に発生している。

低いながらも漸増傾向にあることから、今後の動向に注意が必要である。1歳を過ぎた麻疹ワクチン未接種かつ麻疹未罹患者には、ワクチンを早急に接種することが推奨される。

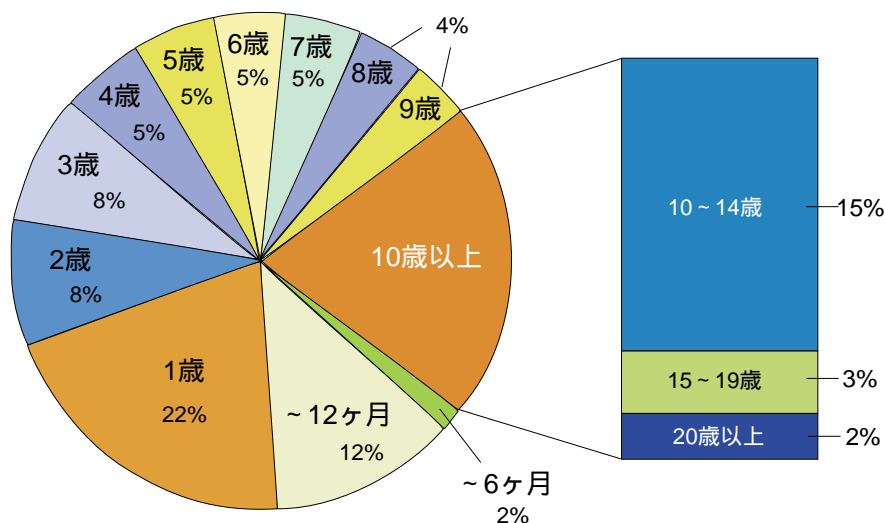
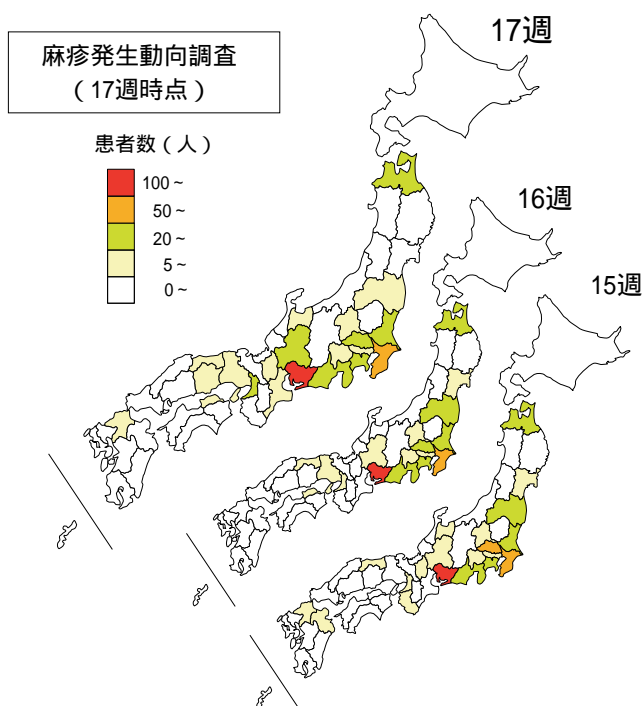


図. 累積麻疹患者年齢階級別グラフ (2002年1～17週)



病原体情報

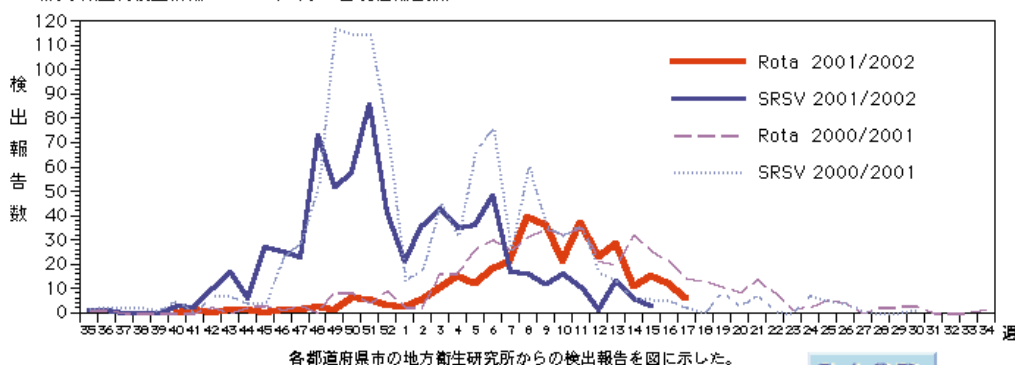
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年5月10日現在報告分)

感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが475件、NLV genogroup Iが26件、NLV genogroup unknownが133件、サッポロ様ウイルス(SLV)が30件で、その他に電顕による検出が75件報告された。またA群ロタウイルス303件、群不明ロタウイルス30件の検出が報告されている。SRSVは第51週をピークに減少し、第8週以降ロタウイルスがSRSVの検出数を上回っている。

週別SRSV & ロタウイルス検出報告数の推移、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年5月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



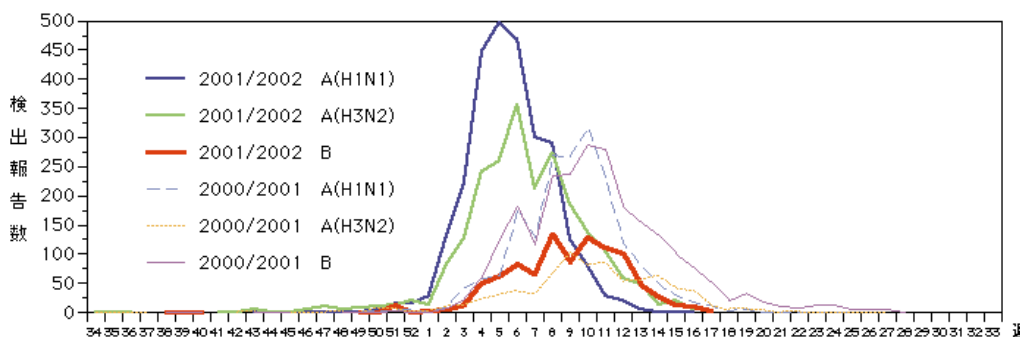
Infectious Agents Surveillance Report

インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連型(H1)が2,677件、A/香港型(H3)が2,212件、B型が952件である。昨シーズンと同様にA/ソ連、A/香港、B型の混合流行であるが、今シーズンは第2週からA/ソ連、A/香港型の報告が増加し始め、第5週にA/ソ連型が、第6週にA/香港型がピークを迎えた。B型は第4週頃より報告が増加し始め、第8～12週にかけて二峰性のピークを形成した。最近では、A/ソ連型が第16週に1(札幌市)、A/香港型が第16週に4(3県市)、第17週に3(札幌市、名古屋市、福岡市)、B型が第16週に9(3県市)、第17週に3(札幌市、兵庫県)が報告されている。

週別型別インフルエンザウイルス分離・検出報告数の推移、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年5月10日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



大アサリの喫食を原因とするノーウォーク様ウイルスとA型 肝炎ウイルスによる食中毒事例 - 浜松市

大アサリ喫食によりノーウォーク様ウイルス(NLV)の食中毒が発生し、約1カ月後に同グループからA型肝炎の患者が発生したため、その概要を報告する。

2001(平成13)年12月11日に浜松市内の中国料理店で喫食した1グループ57名中22名が、翌12日から下痢・嘔吐・発熱等の食中毒症状を呈した。検査の結果、患者16名中4名の便がEIA法(デンカ生研)でNLV陽性となった。その4名の便について厚生労働省通知の方法に従ってRT-PCR法とマイクロプレート・ハイブリダイゼーション法を実施したところ、4検体ともNLVgenogroup I(GI)とII(GII)の両方が検出された。NLV検出のリアルタイムPCR法では、4名すべての便からNLV陽性(3名はGIとGII、1名はGIIのみ陽性)となり、 $2.2 \times 10^5 \sim 6.3 \times 10^8$ copy/gのNLV遺伝子が検出された。従業員5名の便についても、上記の方法でRT-PCRを実施したがNLVは検出されなかった。また、患者便、従業員便、および施設のふきとり検体について食中毒細菌を検索したが、ふきとり検体からセレウス菌が検出された以外には病原性細菌は見出されなかった。

疫学調査の結果、患者グループは大アサリ(ウチムラサキガイ)の唐辛子蒸しを喫食しており、原材料である冷凍大アサリの同一ロットについて、上記の方法に従ってRT-PCR法とマイクロプレート・ハイブリダイゼーション法を実施したところ、NLVGIとGIIの両方が検出された。患者便と大アサリから検出されたNLVのシーケンスは現在実施中である。大アサリからは、セレウス菌が検出された以外には病原性細菌は見出されなかった。また、他の食材や患者の残食は無かったため検査できなかった。

NLVの食中毒発生から約1カ月後の2002(平成14)年1月11日～16日にかけて、上記のグループ中4名がA型肝炎を発症した。A型肝炎ウイルス(HAV)検出のリアルタイムPCR法の結果、4名すべての便から $1.5 \times 10^8 \sim 3.7 \times 10^9$ copy/gのHAV遺伝子が検出された。また、患者4名はすべてHAVに対する血清中のIgM抗体陽性であった。NLVが検出された大アサリについてHAVのRT-PCR法を実施したところ陽性となったため、患者便分離株とともにPCRダイレクトシーケンス法を実施した。その結果、大アサリと患者からの分離株はすべてgenotype1Aとなり、解析した168塩基について95%以上の相同性が認められた。

患者グループは上記料理店以外には共通喫食歴が無く、A型肝炎の発症も同時期であり、同一ロットの食材からウイルスが検出されたことから、本事例をNLVとHAVの2種類のウイルスに汚染された大アサリが原因で発生した食中毒であると確定した。患者が喫食した大アサリは蒸し料理として提供されたものであるが、加熱不足により比較的耐熱性のNLVとHAVが不活化されなかったと推測された。また、この大アサリは中国から輸入されており、流通等については現在調査中である。

本事例と同時期に市内で1名のA型肝炎患者の発生があり、調査した結果、上記グループの2日前に同じ中国料理店で大アサリを喫食していることが判明した。検査の結果、リアルタイムPCR法で便から 2.7×10^5 copy/gのHAV遺伝子が検出された。さらに、PCRダイレクトシーケンス法によりgenotype1Aと分類され、上記グループから分離された株の1つと168塩基が一致した。従って、この患者についても大アサリの喫食が原因である可能性が高いと考えられるが、2001年12月～

2002年1月初旬にかけて生カキ等を複数回喫食していることから、大アサリが原因であるとは確定できなかった。

A型肝炎は潜伏期間が長いいため、感染源の特定がしばしば困難である。本事例は先にNLVの食中毒が発生した時点で原因食材が保存されており、HAVを検出することができたため感染源が特定された稀な事例であると思われる。東南アジア地域は依然としてA型肝炎ウイルスの濃厚汚染地域であり、海外渡航歴の無い人がA型肝炎を発症した際には、輸入魚介類の喫食調査が必要であるといえる。

浜松市保健環境研究所	古田敏彦
浜松市保健所食品衛生課	竹内寛行 東谷市郎
国立感染症研究所	西尾 治

(IASR2002年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

輸入マラリア患者 - タイ南部からドイツ

Eurosurveillance weekly 2002年5月9日

ほとんど同時期だがお互いに関係がない12人の熱帯熱マラリア患者がドイツのRobert Koch研究所に報告された。2人の患者は、マラリアが存在しないと考えられ、予防内服の勧告がこれまで旅行者に出されていなかったタイの地域を訪問していた。

最初の患者は友達と一緒にリュックサックを背負ってタイを旅行していた20歳の女性であった。彼女の旅行日程は2002年3月10日のバンコクに始まり、そこから2晩滞在したKhao Sok国立公園を含むタイ南部を旅行した。彼女は4月3日に頭痛、四肢の痛み、軽い上気道炎で発症した。

2人目の患者は43歳の女性で、夏休みにタイ南部を訪れ、3月11日から21日までプーケット島で過ごしたが、この期間中2日間Khao Sok国立公園を訪れた。

両患者ともにMalarone(atovaquoneとproguanilの合剤)での治療が効果を示し、数日後に退院した。旅行の時期とKhao Sok国立公園で滞在したことを除いて2人の患者には関連はなかった。以前にこの地域から熱帯熱マラリア患者が報告されたことはなかった。衣服、蚊帳および忌避剤による防御手段以外には、ドイツでの唯一の勧告は緊急事態に備えて待機療法としてMalaroneのような薬を携帯することである。タイ南部の旅行地域への訪問後に発熱した場合は、マラリア検査が実施されるべきである。タイ南部からの患者数の増加が認められるなら、予防内服の勧告が変えられなければならないであろう。

ガボンのエボラ出血熱流行終息

WHO/CSR 2002年5月9日

5月6日現在、ガボン保健省はOgooue-Ivindo地方でのエボラ出血熱流行の終息を公式に宣言した。最後に届け出られた患者は3月19日に死亡し、エボラ出血熱の最長潜伏期間の2倍にあたる期間内に新たな患者発生は報告されなかった。

ブラジルのデング熱/デング出血熱 - 更新

WHO/CSR 2002年5月8日

ブラジル保健当局は、今年の第一四半期に57名の死亡患者を含む317,787名のデング熱患者を報告した。その中でリオ・デ・ジャネイロ州が全登録患者の41%を占め、最も患者が多かった。2002年の1月から2月は前年の同時期と比べると、患者数が増加した州は、27州のうち14州のみで、リオ・デ・ジャネイロ州では患者数が886%増加した。

2002年4月25日現在、リオ・デ・ジャネイロ市だけで31名の死亡患者と571名のデング出血熱患者を含む95,463名のデング熱患者発生が報告された。しかしながら、リオ・デ・ジャネイロ市で4月1日から25日までに発生した患者数は、今年に入ってから報告された患者数の3%となり、劇的な減少が見られている。

今回の流行は、デング3型の流行であり、このことが2002年にデング出血熱患者が増加したことを説明している。

さらに詳しい情報はthe Brazilian Ministry of Health and the WHO fact sheet about dengue and dengue haemorrhagic fever. のウェブサイト参照されたい。



感染症の話

多剤耐性緑膿菌

緑膿菌における多剤耐性獲得の歴史と変遷

多剤耐性緑膿菌(multiple-drug-resistant *Pseudomonas aeruginosa*)という用語は、既に1970年代に論文等に登場している¹⁾が、当時は、緑膿菌に有効であった、ゲンタマイシン、カナマイシンなどを含む複数の抗菌薬に対しR-プラスミド依存性に耐性を獲得した株を漠然と指していた。1980年代後半になると、緑膿菌を含むグラム陰性桿菌に広く効果が期待できるフルオロキノロン(=ニューキノロン) 広域β-ラクタム、アミノ配糖体などに耐性を獲得した株に対しこの語が当てられるようになった²⁾。

最近では、緑膿菌に対し強い抗菌感活性が期待できるシプロフロキサシンやレボフロキサシンなどのフルオロキノロンやイミペネムなどのカルバペネム、アミカシンなどの抗緑膿菌用アミノ配糖体の三系統の抗菌薬に耐性を獲得した株を「多剤耐性緑膿菌」とするケースが多いようである。

緑膿菌における薬剤耐性の獲得状況

「院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)」の結果によれば、フルオロキノロンやカルバペネムに感受性を喪失(S以外と判定)した株の国内での分離状況は、2000年の血液分離株の場合、各々20%程度に達しており、さらにアミカシンなどのアミノ配糖体に感受性を喪失(S以外)したと判定される株は5%前後に及んでいる³⁾⁴⁾。

米国CDCの「 Division of Healthcare Quality Promotion(旧Hospital Infections Program)」でも、1989年頃よりカルバペネムやフルオロキノロン耐性を獲得した緑膿菌の動向が監視されており、最近のIntensive Care Antimicrobial Resistance Epidemiology(ICARE)の報告では、イミペネム耐性株は、1997年時点で15%弱、オフロキサシンあるいはシプロフロキサシン耐性株は16%程度に達している⁵⁾。また、米国内の別の調査(The Surveillance Network Database USA)でも、2000年にはイミペネム耐性株は15%弱と横這い傾向であるが、シプロフロキサシン耐性株は30%弱に達しておりその動向が警戒されている⁶⁾。

「多剤耐性緑膿菌」の現状

感染症法では、フルオロキノロン、カルバペネム、アミノ配糖体の三系統の抗菌薬に耐性を獲得した、新型「多剤耐性緑膿菌」を「薬剤耐性緑膿菌」感染症として4類の定点把握疾患に指定している。その理由は、従来より各種の抗菌薬に耐性を示す傾向が強い緑膿菌において、最後の「切り札」的な存在であるこの三系統の抗菌薬に耐性を獲得した「多剤耐性株」の出現は、医療にとって大きな障害となる事が懸念されたためである。現在、そのような株の分離率は、国内では1～数%程度と推定されているが、施設によりその状況は大きく異なっており、詳細は不明である。感染症法に基づく2001年の「薬剤耐性緑膿菌感染症」の報告件数は、1定点施設で月あたり約0.1件で、MRSA感染症やVRE感染症に比べ低い値となっているが、年間の報告総件数は618件に達し、毎月平均50件前後が恒常的に報告されている。カルバペネムなどに耐性を獲得した緑膿菌は、血液疾患や悪性腫瘍の手術後、骨髄移植を含む臓器移植後などの患者さんから分離される事例も多い⁷⁾。したがって、敗血症や腹膜炎などを起こした場合、化学療法に抵抗し治療に難渋する事が懸念されており、患者の予後や死亡率を悪化させる主要な要因の一つとして警戒されている。事実、最近、新潟県や神奈川県内の病院での感染死亡事例が報道されており、一般にも「多剤耐性緑膿菌」について関心が高まりつつある。

緑膿菌における多剤耐性獲得の分子機構

緑膿菌が多剤耐性を獲得する機構として、以下の7つの機構が挙げられる。

1)内因性の耐性機構

特定の抗菌薬を使い続ける事により、細菌が本来持っている内在性の遺伝子に変化し、耐性を獲得する例を以下に示す。

1. DNAジャイレース、トポイソメラーゼなどの標的蛋白の変異(フルオロキノロン耐性)
2. D2ポリンの減少など細菌外膜の変化(イミペネム耐性)
3. 薬剤能動排出ポンプの機能亢進(フルオロキノロン耐性、その他の薬剤耐性、消毒薬抵抗性)
4. AmpC型 β -ラクタマーゼなど分解酵素の過剰産生(広域セファロスポリン耐性)
5. 細胞表面多糖体であるアルギン酸莢膜多糖などを主成分とするバイオフィルムの産生の増加

2)獲得性の耐性機構

細菌が、他の耐性菌株から伝達性のR-プラスミドを介して耐性遺伝子を外来性に新たに獲得する事により耐性化する例を以下に示す。

1. IMP-型メタロ- β -ラクタマーゼの産生(広域セフェム耐性、カルバペネム耐性)
2. アミノグリコシドアセチル化酵素などの薬剤修飾不活化酵素の産生(アミカシン等アミノ配糖体耐性など)

これまで我が国では、緑膿菌などのグラム陰性桿菌感染症に対してはイミペネムなどのカルバペネム薬が使用されて来たが、細胞外膜のD2ポリンの減少によると思われるイミペネム耐性株(IPMのMIC値が32 μ g/ml程度まで)は、前述した如く既に2割前後に達している。それに加えさらに、特にプラスミド依存性にIMP-型やVIM-型メタロ- β -ラクタマーゼの産生能力を獲得した一部の株においては、IPMなどのMIC値が維持可能な血中濃度をはるかに上回る128 μ g/mlを超えるものがあり⁸⁾、最近、海外でも院内感染の原因となる耐性菌としてその動向が警戒されつつある^{9),10)}。

多剤耐性緑膿菌の監視と対策

このような事態を背景に、平成11年度より施行された「感染症法」では、4類疾患感染症の病原体の中に、前述の三系統の抗菌薬に広範な耐性を獲得した株を「薬剤耐性緑膿菌」として指定し、その動向を把握するため、定点施設で感染症例が発生した場合には報告を求めている。毎月平均50件前後が恒常的に報告されており、臨床現場で無視できない状況となっている事が示唆される。一方、平成12年度より開始された厚生労働省「院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)」では、臨床分離緑膿菌における薬剤耐性の獲得状況やそれによる感染症の実態や動向が把握されようとしている。

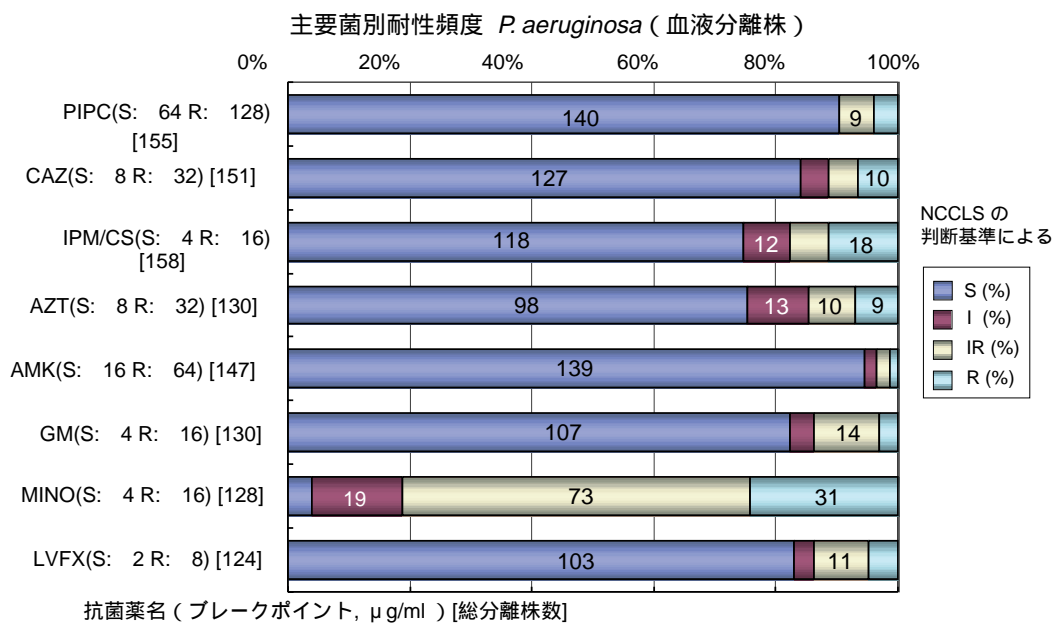
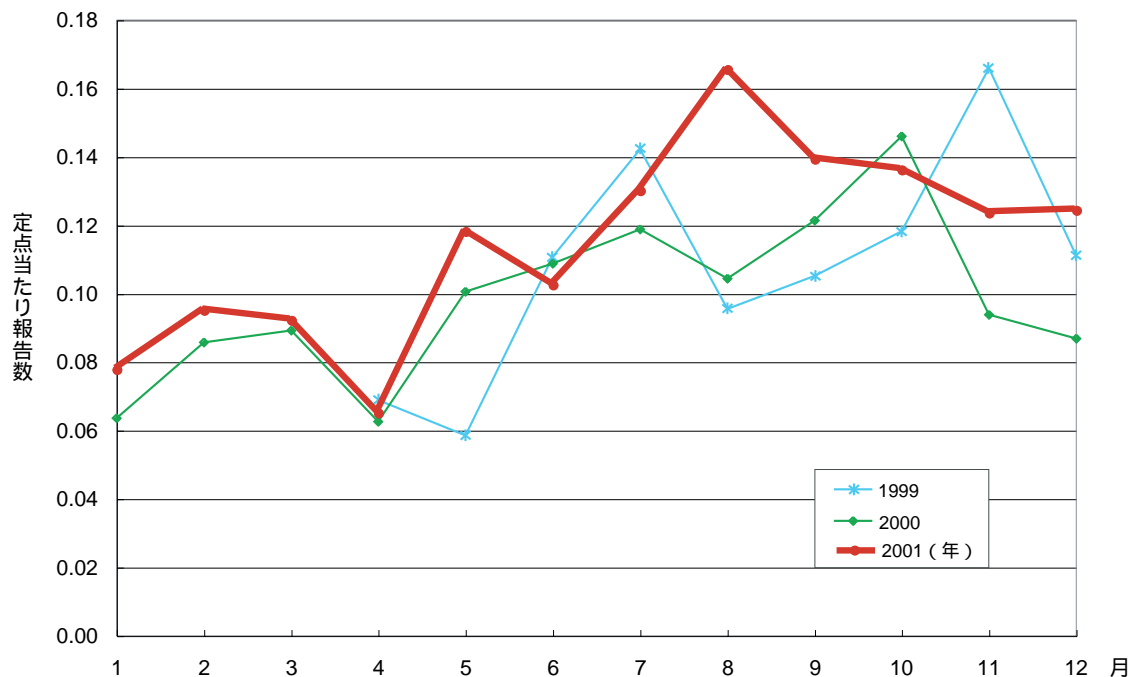


図1. JANIS 検査部門サーベイランス (2000年10～12月)

(注) 陽性検体のみを報告している施設のデータも含まれています。
 (注) グラフのバーには株数が表示されています。
 (注) NCCLS の診断基準について
 ・100株以上検査した薬剤についてのみ掲載しています。

図2. 薬剤耐性緑膿菌感染症月別定点当たり報告数



さいごに

既にグラム陽性球菌である黄色ブドウ球菌、腸球菌、肺炎球菌から各々、MRSA、VRE、PRSPなどが出現し、世界的に蔓延しつつあり大きな問題となっている。そのような中で、今後、緑膿菌やアシネトバクターなどのブドウ糖非発酵菌のみならず、セラチアやエンテロバクター、シトロバクター、肺炎桿菌、大腸菌などの腸内細菌科に属するグラム陰性桿菌における多剤耐性化の進行が現実的な驚異となっている。そのため、この種の多剤耐性株の動向について、各医療施設で十分に監視を行うとともに、それらを増加させないための監視や抗菌薬の使用方法について、より一層の配慮や注意が必要となっている。

感染症法の中での薬剤耐性緑膿菌感染症の取り扱い

薬剤耐性緑膿菌感染症は感染症法では4類感染症に分類され、その発生動向は病院定点からの報告により把握される。報告のための基準(平成11年3月30日厚生省結核感染症課長通知より抜粋)は以下の通りになっている。

当該疾患を疑う症状や所見があり、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断がなされたもの

・病原体の検出

(1)血液、腹水、胸水、髄液など、通常は無菌的であるべき臨床検体から分離された場合(敗血症・心内膜炎、腹膜炎、胸膜炎、髄膜炎、骨髄炎など)で、以下の検査室での判断基準を満たすもの

(2)喀痰、膿、尿、便など無菌的ではない検体からの分離では、感染症の起因为菌と判定された場合(肺炎などの呼吸器感染症、肝・胆道系感染症、創傷感染症、腎盂腎炎・複雑性尿路感染症、扁桃炎、細菌性中耳炎・副鼻腔炎、皮膚・軟部組織感染症など)で、以下の検査室での判断基準を満たすもの

(検査室での判断基準)

以下の3つの条件を全て満たした場合

・イミペネム MIC, 16 µg/ml

または、イミペネムの感受性ディスク(KB)の阻止円の直径が13mm以下

・アミカシンのMIC, 32 µg/ml

または、アミカシンの感受性ディスク(KB)の阻止円の直径が14mm以下

・シプロフロキサシンのMIC, 4 µg/ml

または、シプロフロキサシンの感受性ディスク(KB)の阻止円の直径が15mm以下

【参考文献】

¹Suzuki S, Miyoshi Y, Nakaya R, 1978, R plasmids among Gram-negative bacteria with multiple drug resistance isolated in a general hospital, Microbiol. Immunol. 22 : 235-247.

²Sanders CC, Sanders WE Jr, Goering RV, and Werner V, 1984, Selection of multiple antibiotic resistance by quinolones, beta-lactams, and aminoglycosides with special reference to cross-resistance between unrelated drug classes, Antimicrob. Agents Chemother. 26 : 797-801.

³院内感染対策サーベイランス(JANIS)

<<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>>

- ⁴⁾Kurokawa H, Yagi T, Shibata N, Shibayama K, and Arakawa Y, 1999, Lancet 354(9182): 955.
- ⁵⁾Fridkin SK, and Gaynes RP. 1999, Antimicrobial resistance in intensive care units. Clin. Chest. Med. 20 : 303-16
- ⁶⁾Livermore DM, Multiple mechanisms of antimicrobial resistance in *Pseudomonas aeruginosa*: our worst nightmare? Clin Infect Dis. 2002 Mar 1 ; 34(5): 634-40.
- ⁷⁾Hirakata Y, Izumikawa K, Yamaguchi T, Takemura H, Tanaka H, Yoshida R, Matsuda J, Nakano M, Tomono K, Maesaki S, Kaku M, Yamada Y, Kamihira S, and Kohno S, 1998, Rapid detection and evaluation of clinical characteristics of emerging multiple-drug-resistant gram-negative rods carrying the metallo-beta-lactamase gene blaIMP. Antimicrob. Agents Chemother. 42 : 2006-2011.
- ⁸⁾Senda K, Arakawa Y, Nakashima K, Ito H, Ichiyama S, Shimokata K, Kato N, and Ohta M, 1996, Multifocal outbreaks of metallo-beta-lactamase-producing *Pseudomonas aeruginosa* resistant to broad-spectrum beta-lactams, including carbapenems, Antimicrob. Agents Chemother. 40 : 349-353.
- ⁹⁾Gibb AP, Tribuddharat C, Moore RA, Louie TJ, Krulicki W, Livermore DM, Palepou MF, and Woodford N, 2002, Nosocomial outbreak of carbapenem-resistant *Pseudomonas aeruginosa* with a new bla(IMP) allele, bla(IMP-7), Antimicrob. Agents Chemother. 46 : 255-258.
- ¹⁰⁾Cornaglia G, Mazzariol A, Lauretti L, Rossolini GM, Fontana R, 2000, Hospital outbreak of carbapenem-resistant *Pseudomonas aeruginosa* producing VIM-1, a novel transferable metallo-beta-lactamase, Clin. Infect. Dis.31 : 1119-1125.

(国立感染症研究所細菌第二部 荒川宜親)



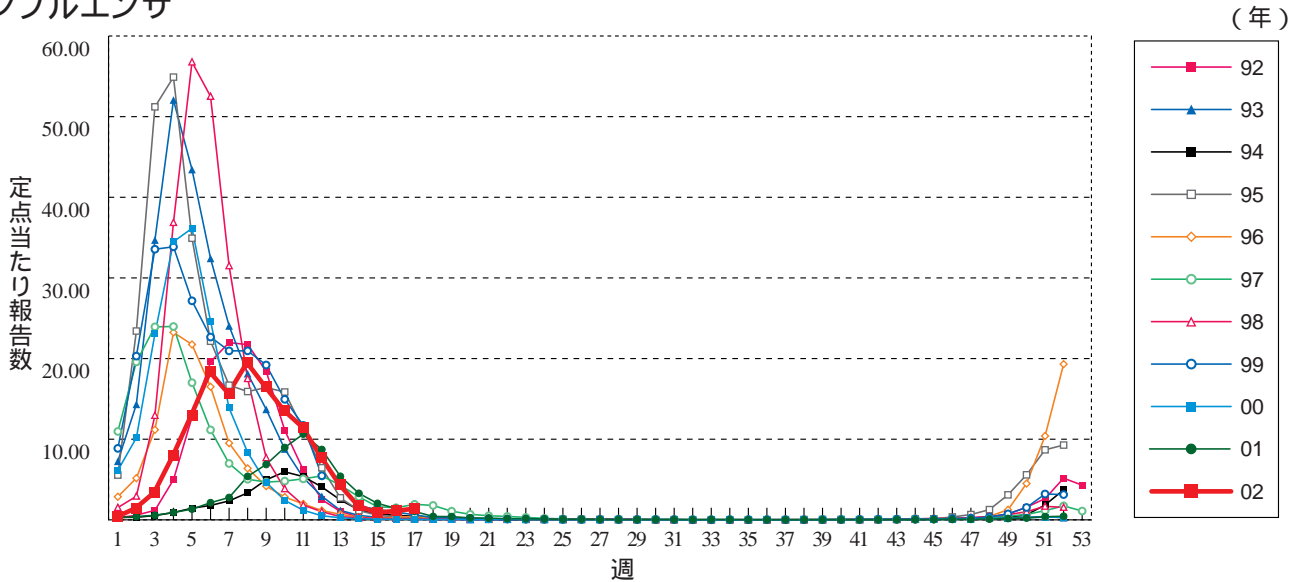
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

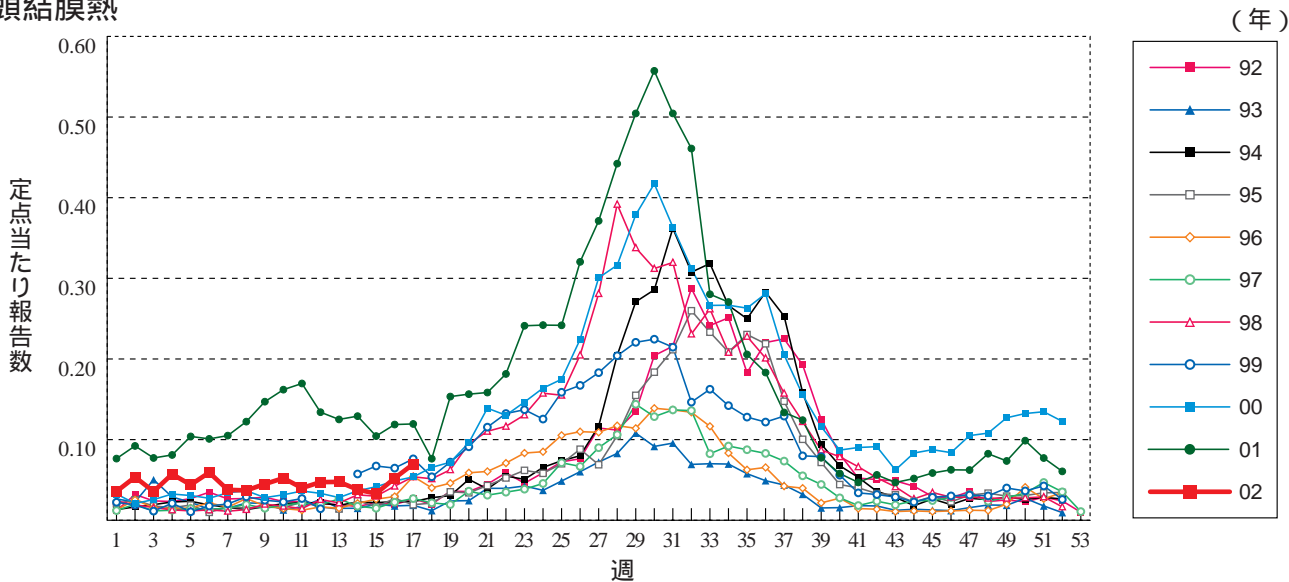
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(17週)

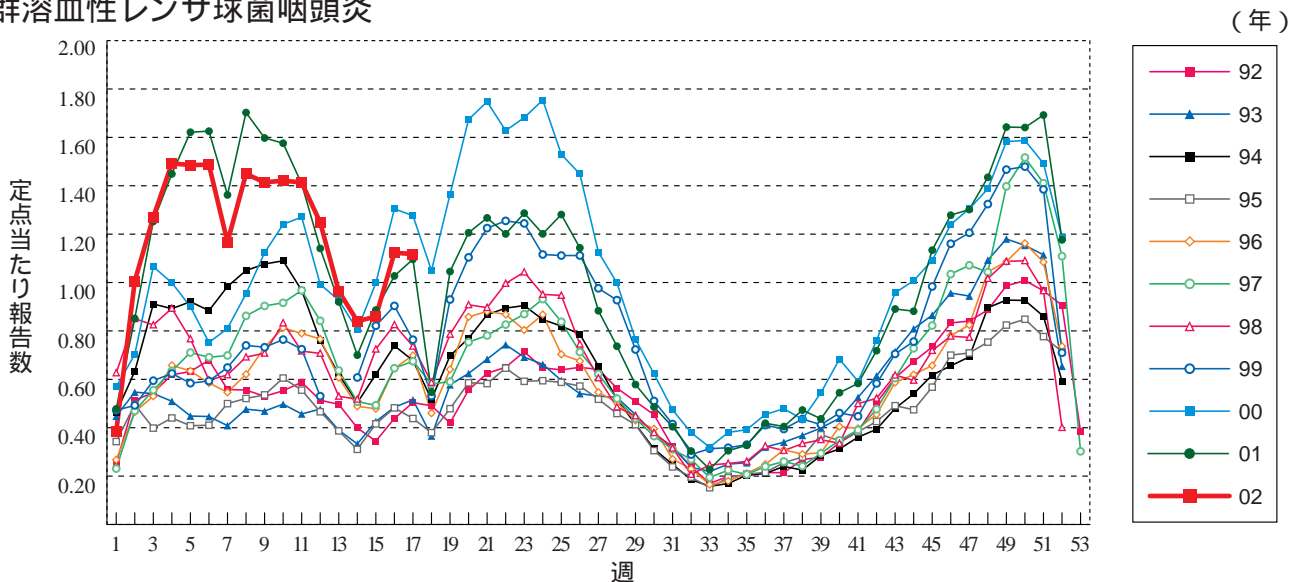
インフルエンザ



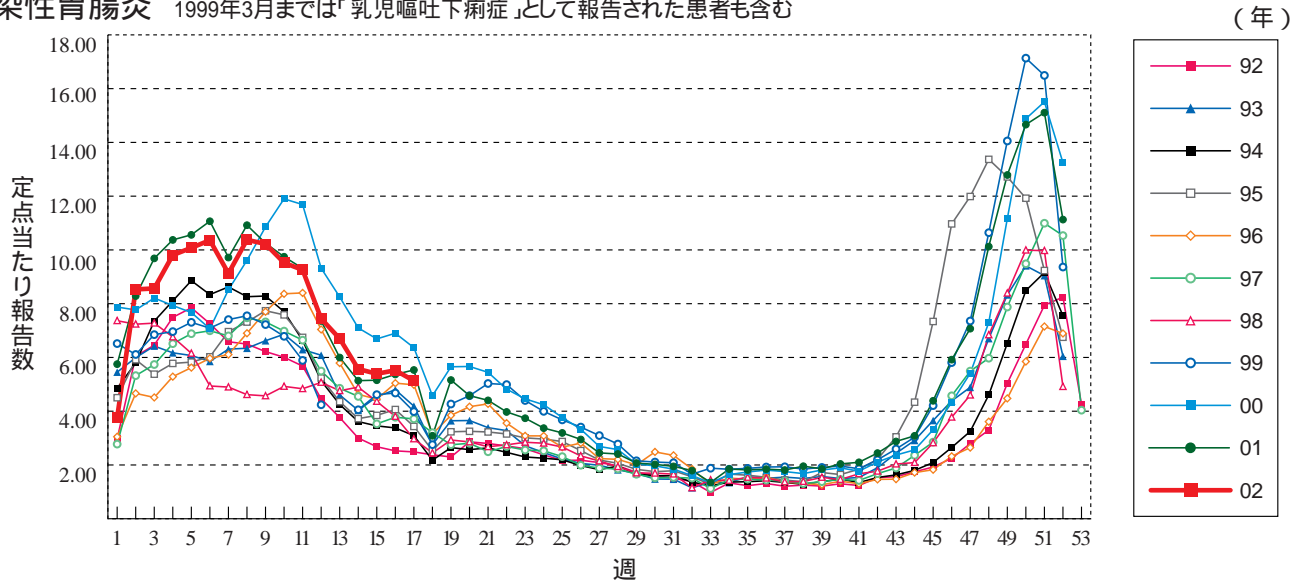
咽頭結膜熱



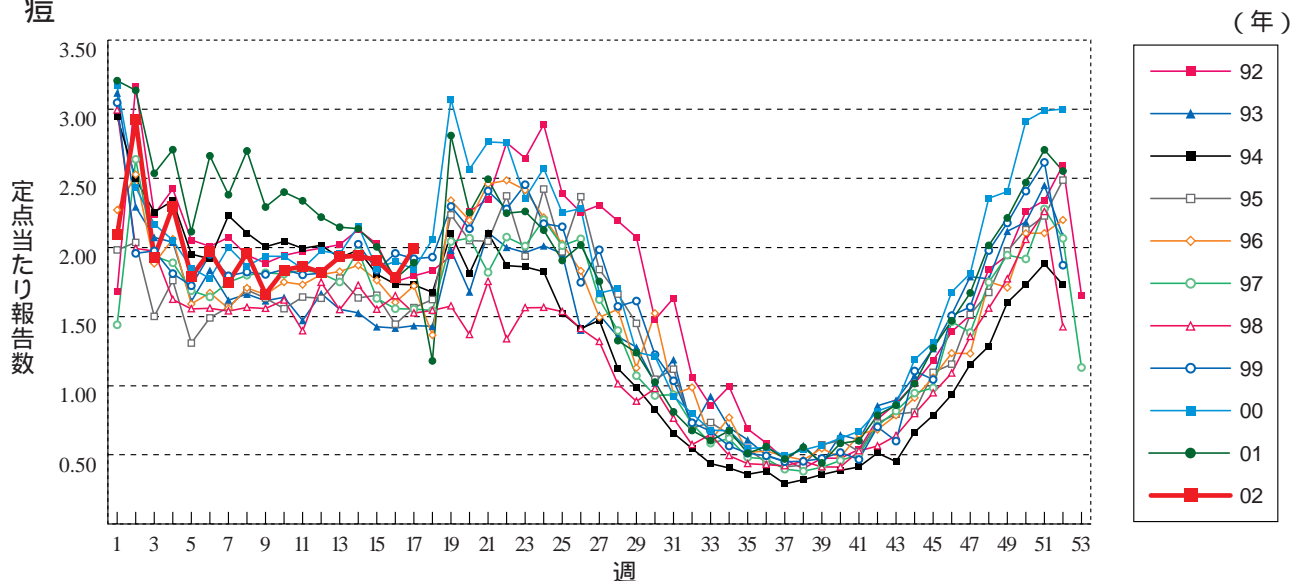
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



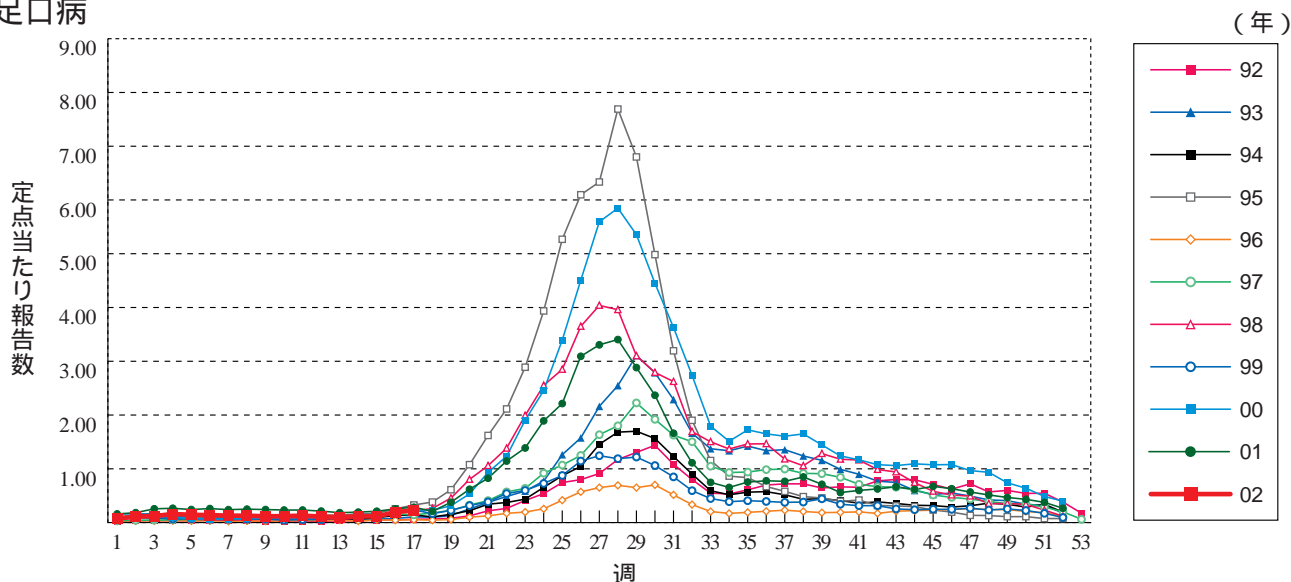
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



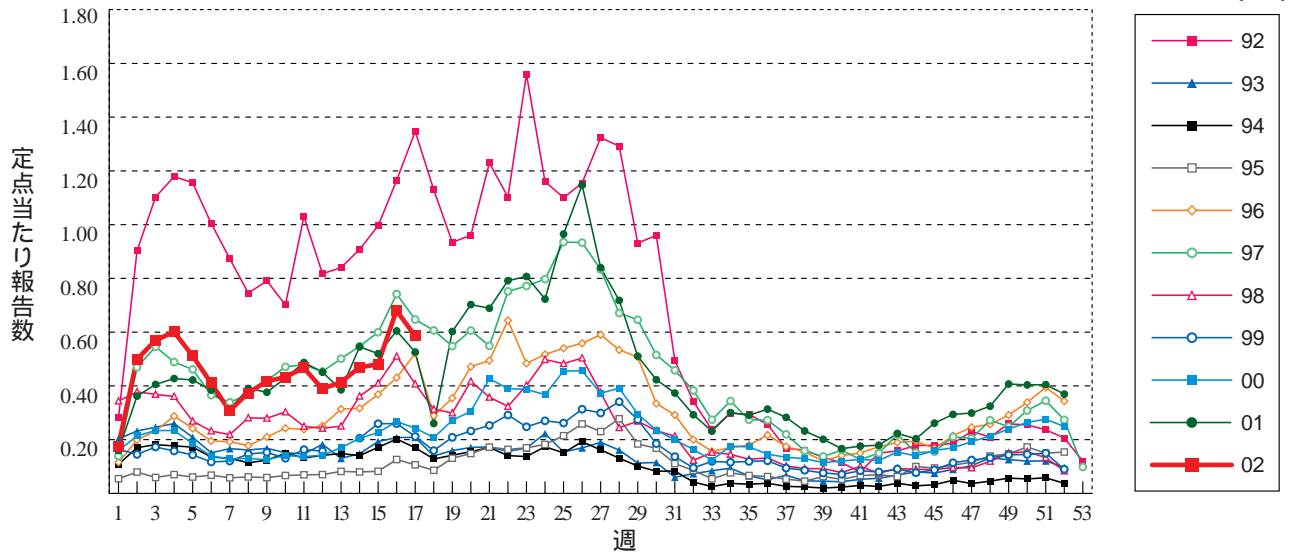
水痘



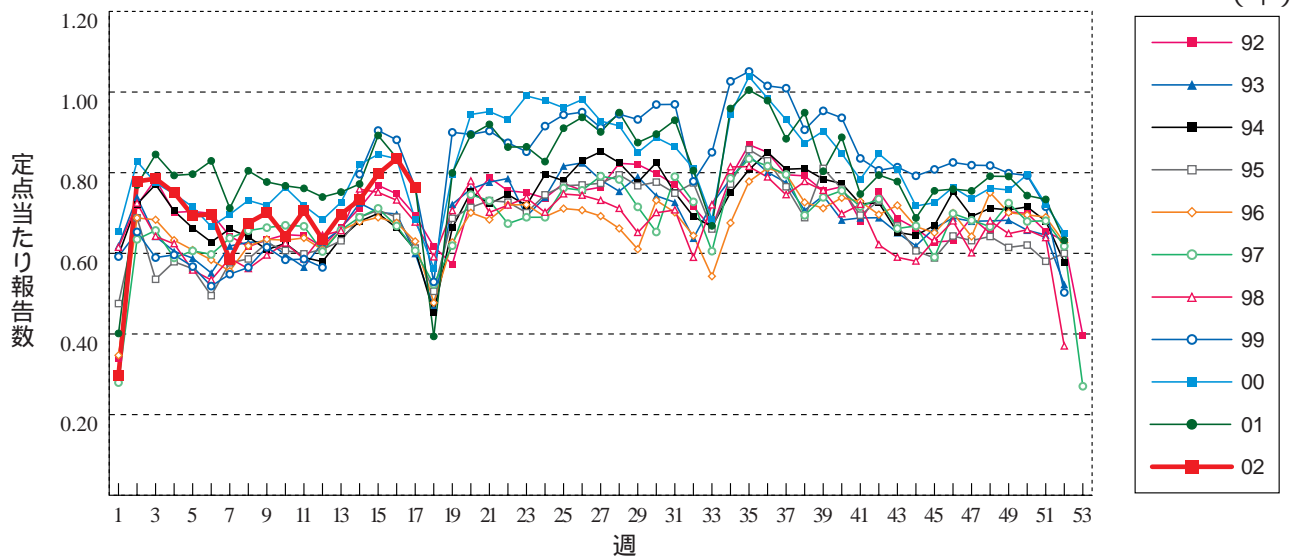
手足口病



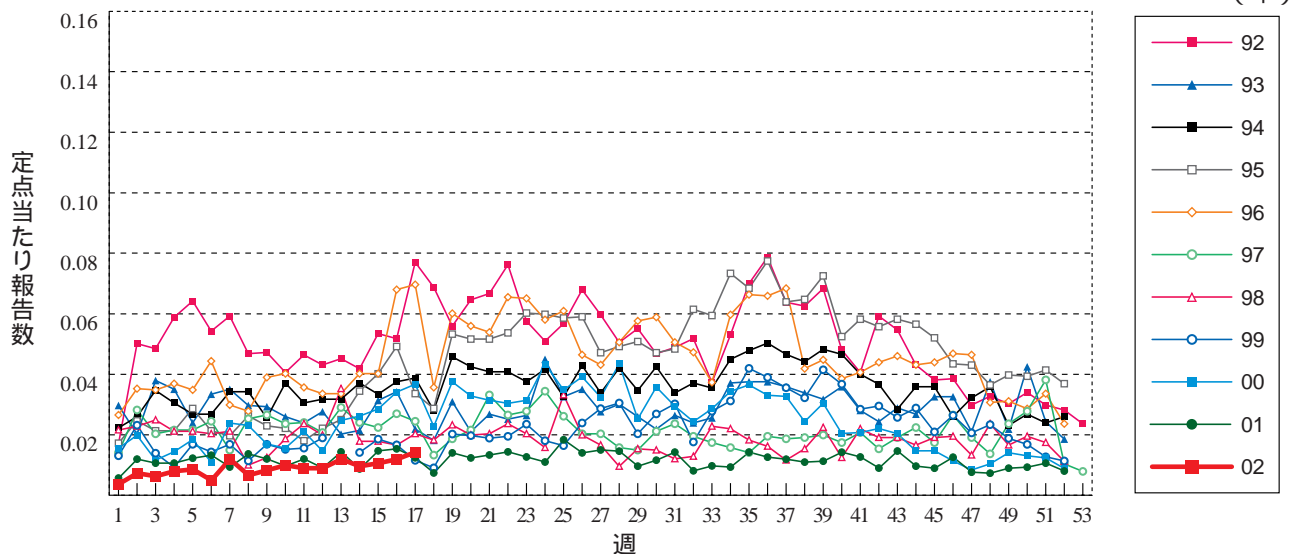
伝染性紅斑



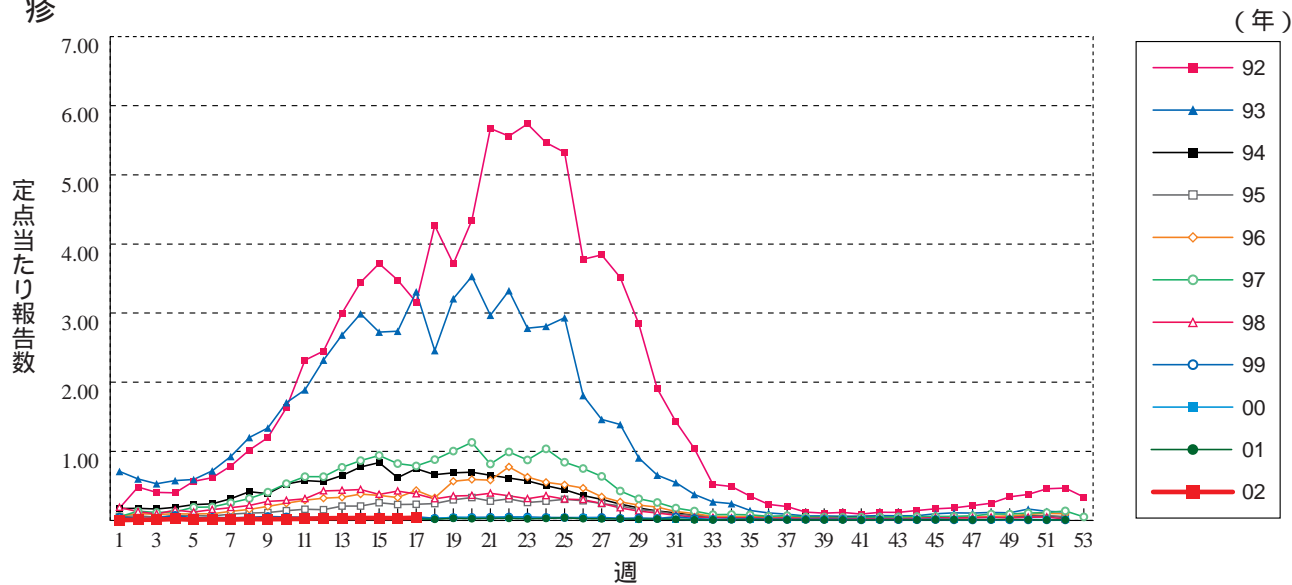
突発性発疹



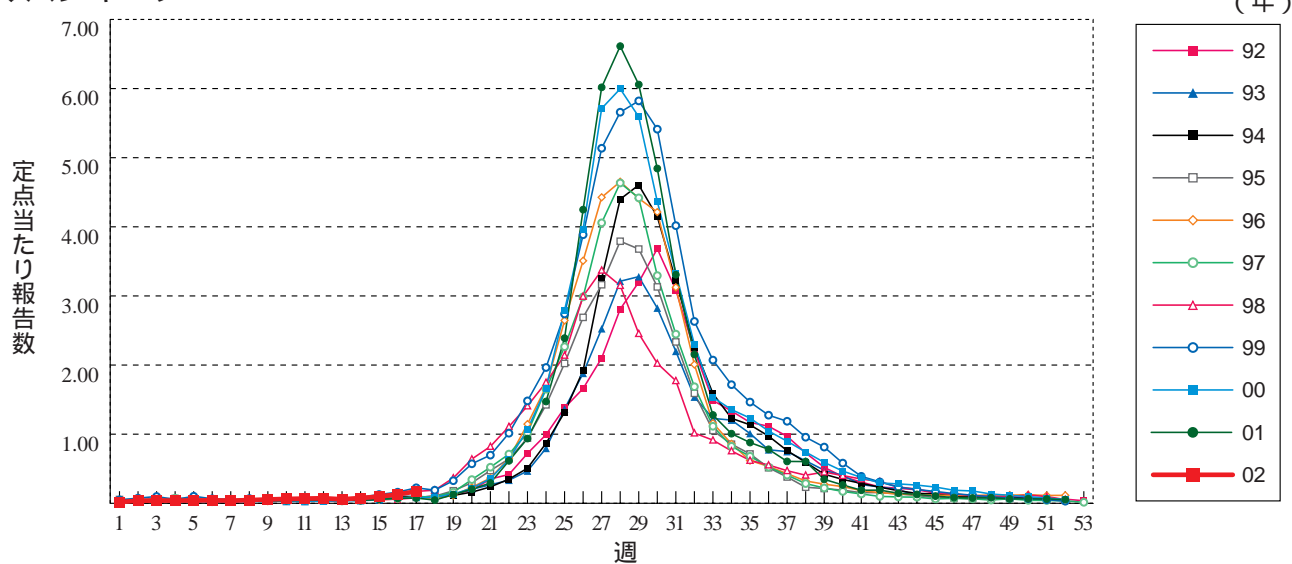
百日咳



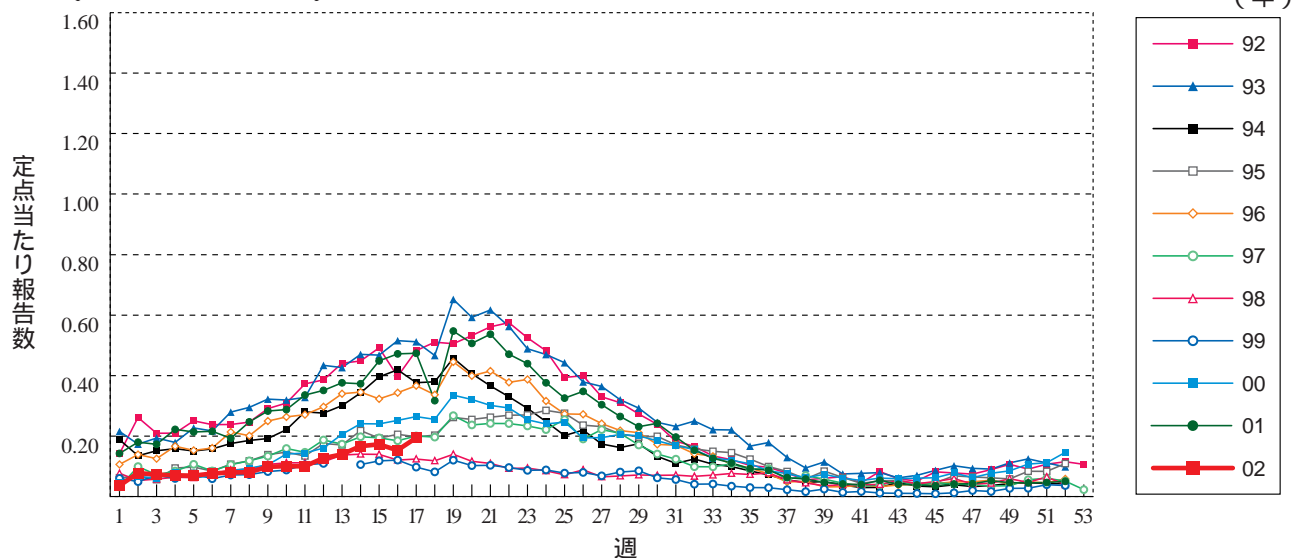
風 疹



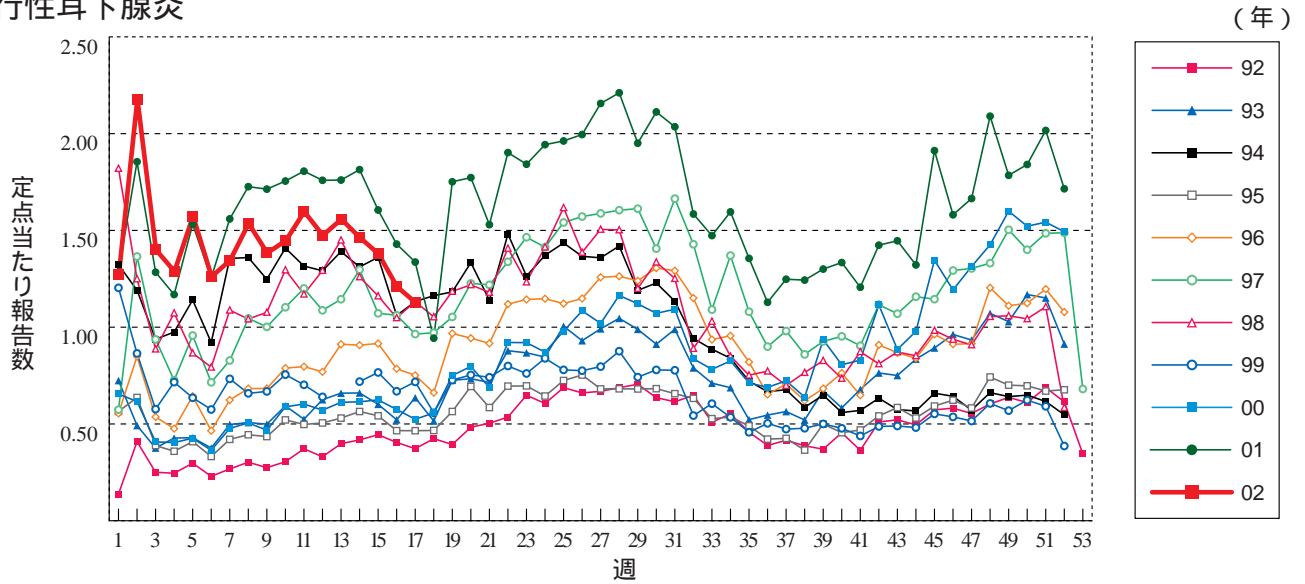
ヘルパンギーナ



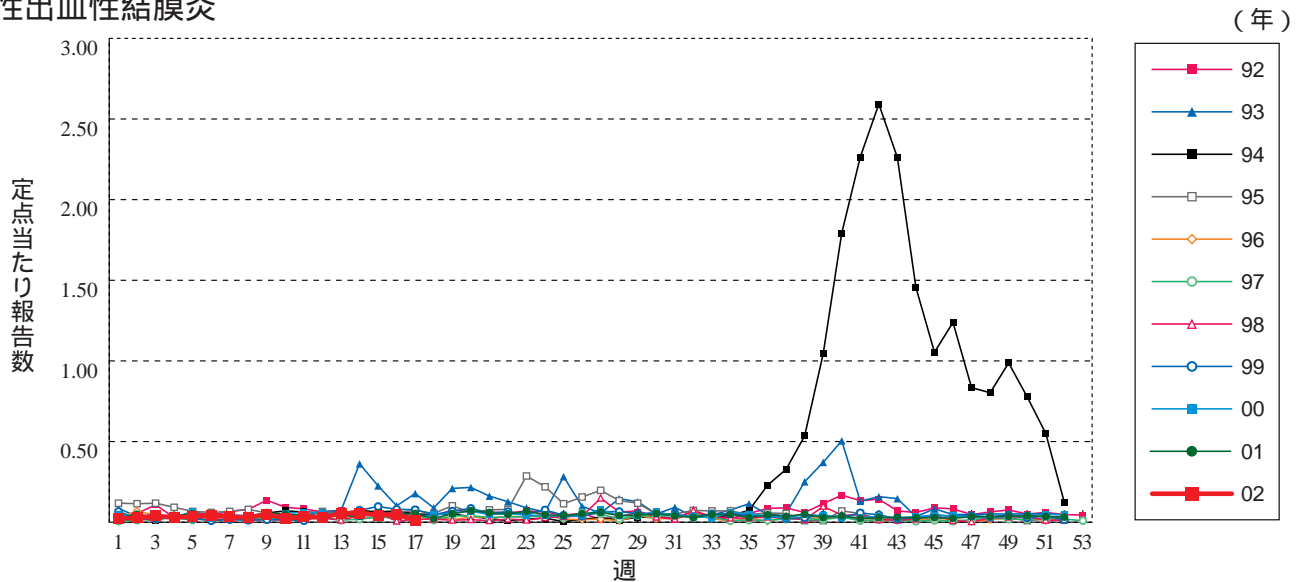
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



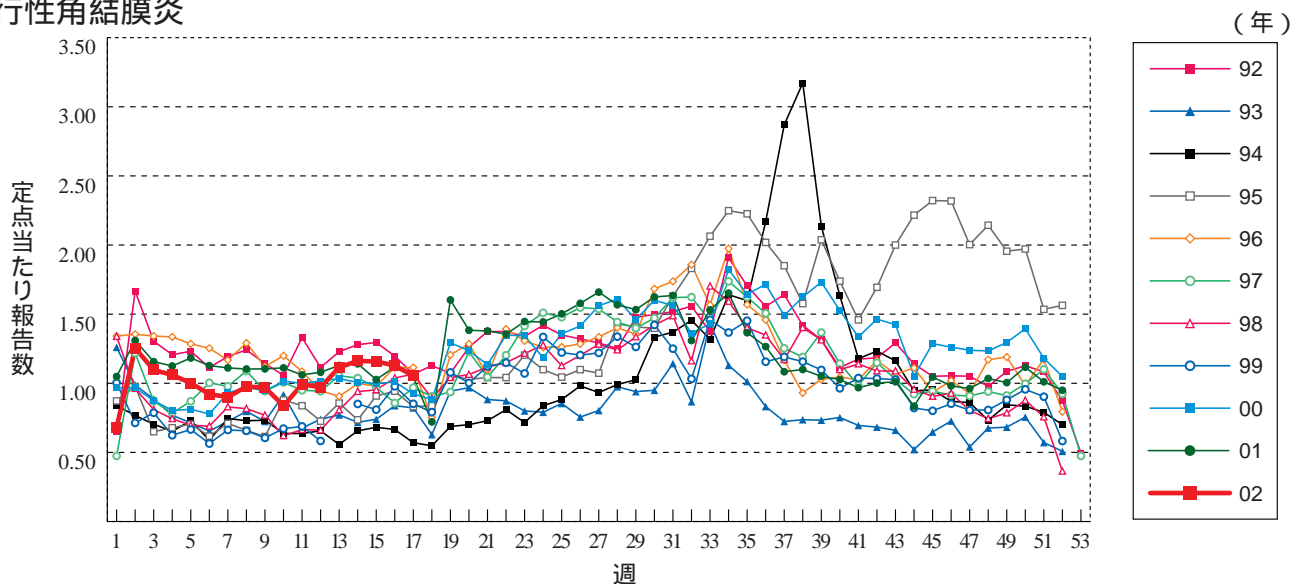
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

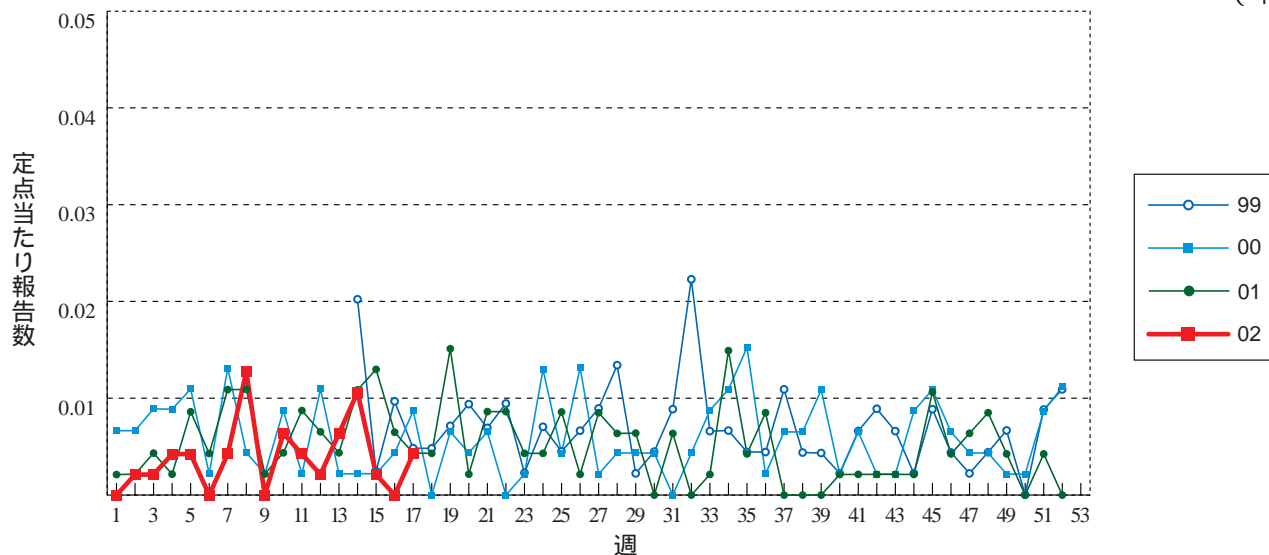


流行性角結膜炎



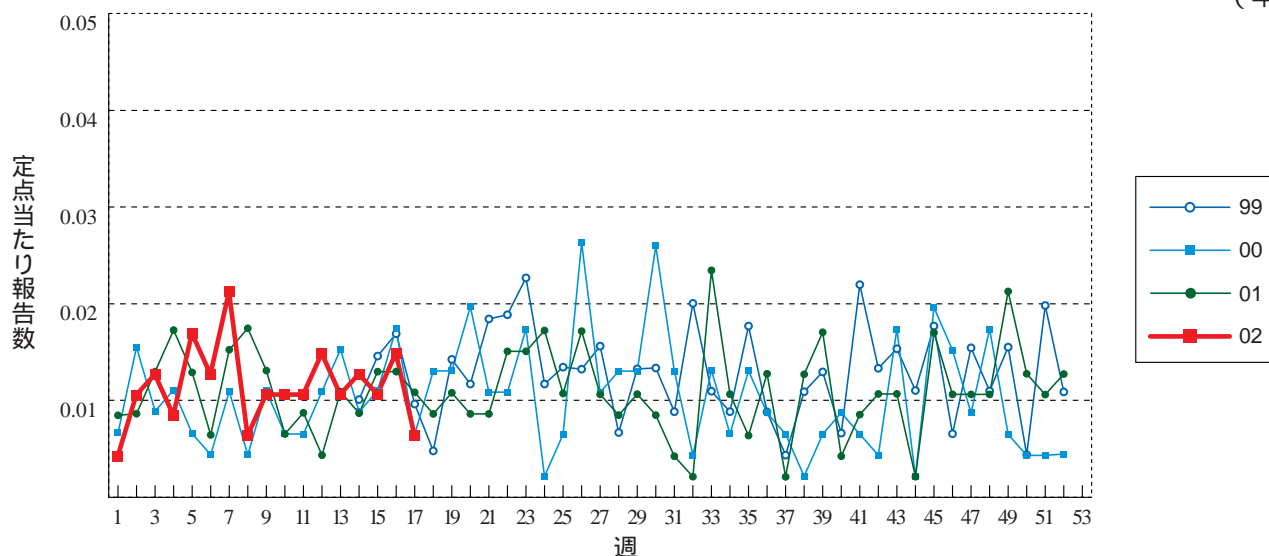
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



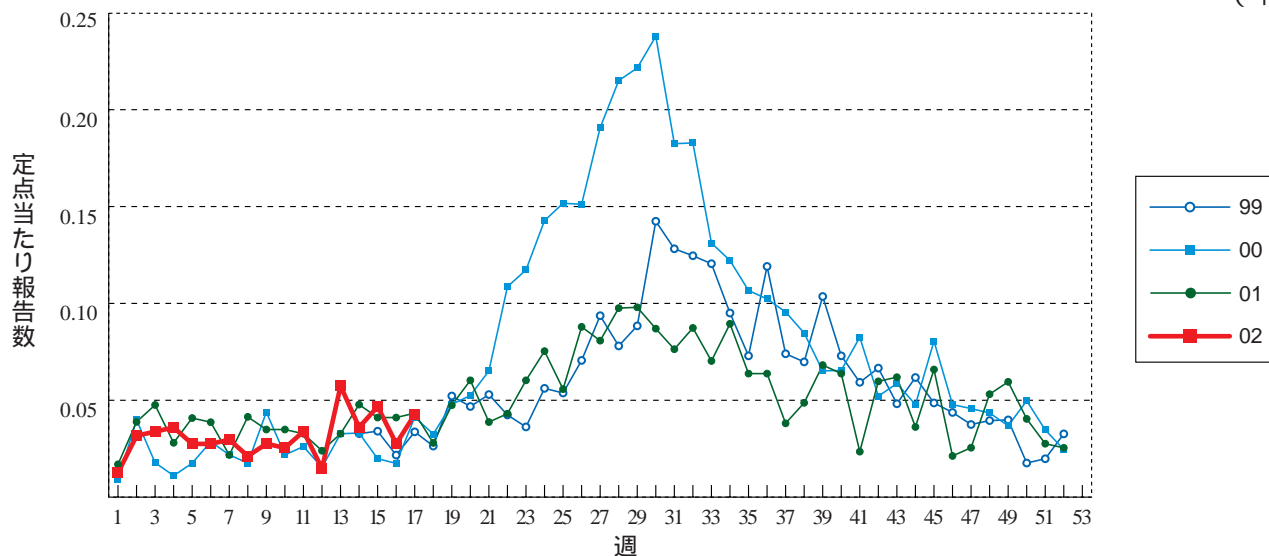
細菌性髄膜炎

(年)



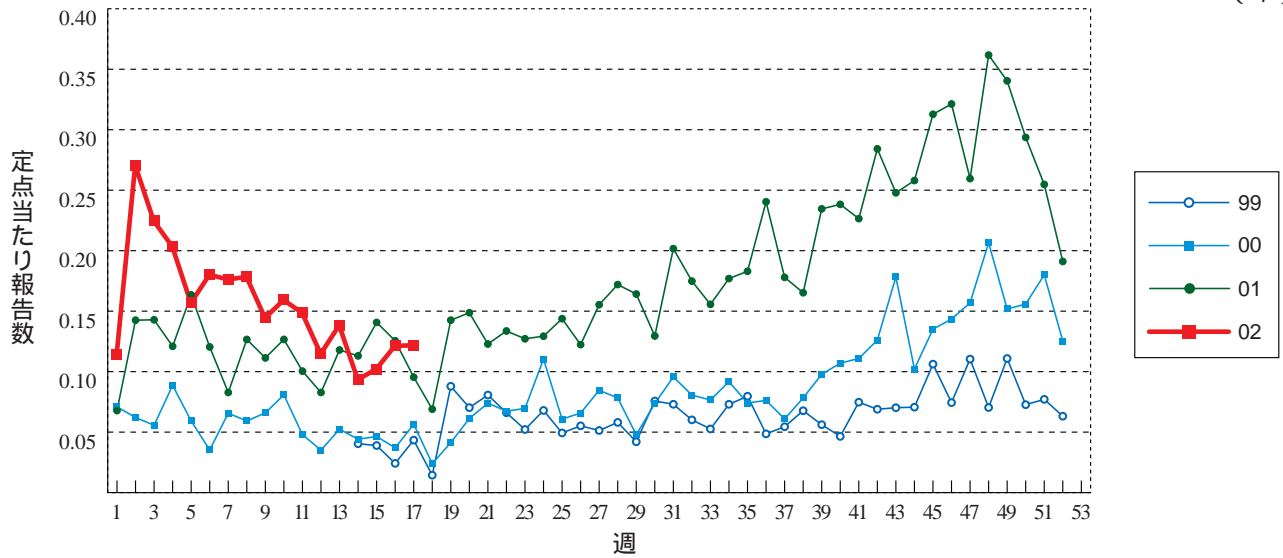
無菌性髄膜炎

(年)



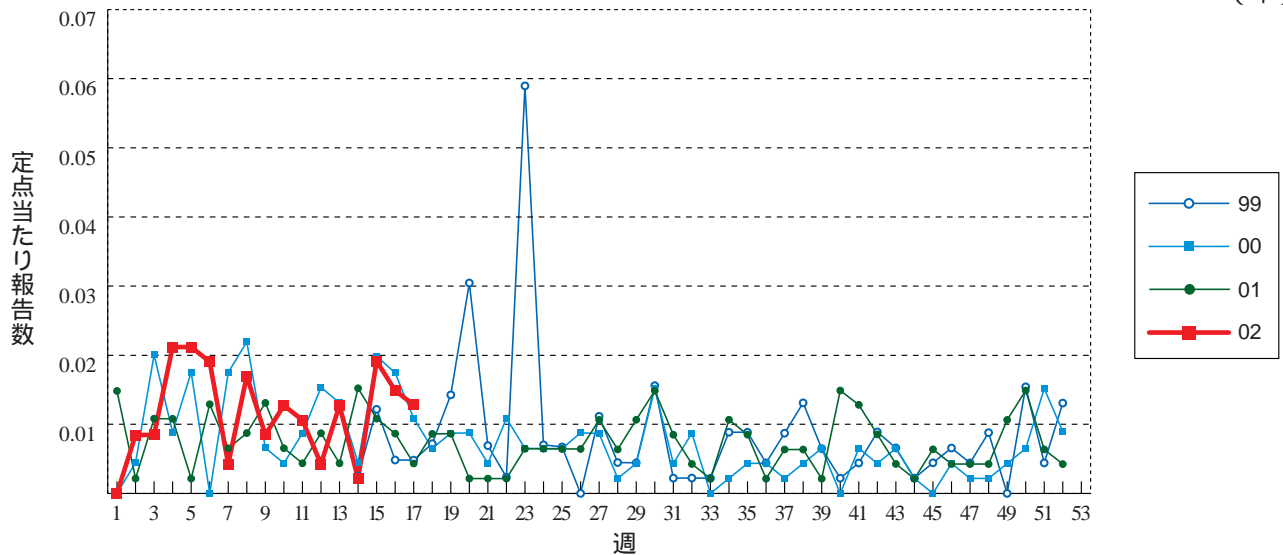
マイコプラズマ肺炎

(年)



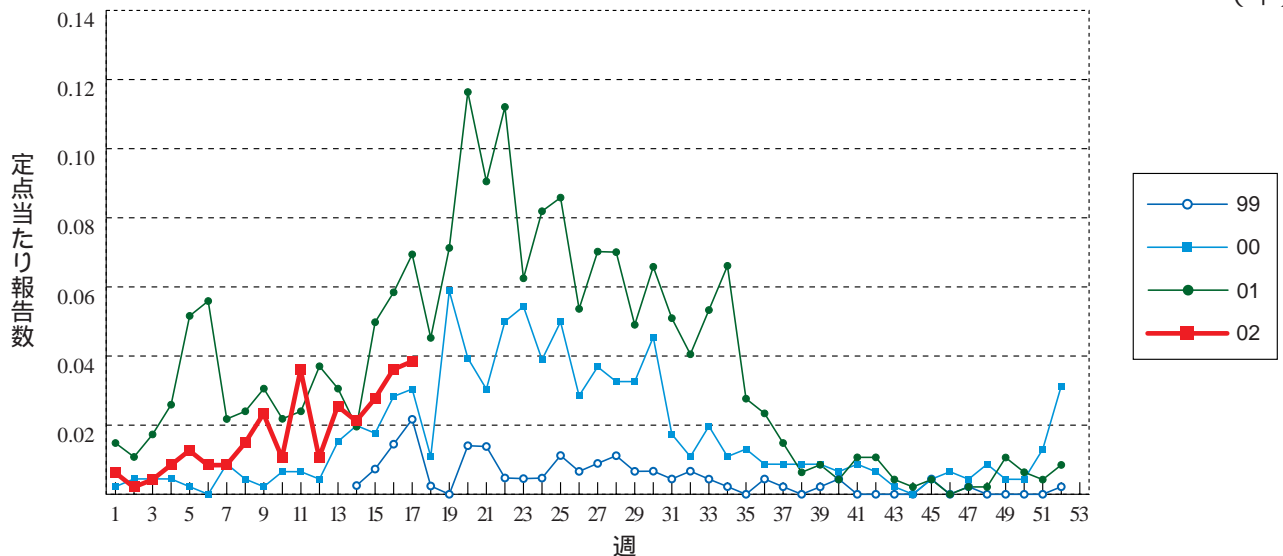
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





17週のデータ

注)表中の報告数は5月2日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年17週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	5	301	5	22	-	12	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26	1	1	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	63	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	26	1	9	-	-	-	4
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	3	-	-	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	1	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年17週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	42	226	2	126	-	3	-	-	-	28	-	-	8	358
北海道	-	-	-	-	-	3	-	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
群馬県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
東京都	-	-	-	-	1	9	1	26	-	-	-	-	-	1	-	-	5	69
神奈川県	-	-	-	-	1	10	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	7	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	3	-	-	-	10
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛知県	-	-	-	-	-	7	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
三重県	-	-	-	-	4	5	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1	8	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	4	15	-	16	-	-	-	-	-	2	-	-	-	17
兵庫県	-	-	-	-	7	31	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	16
奈良県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	2	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
徳島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	1	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
佐賀県	-	-	-	-	1	25	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	2	9	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年17週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	-	63	2	46	-	36	6	250	-	1	7	36	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	13	-	-	-	2	-	-
東京都	-	4	-	-	-	2	-	3	-	3	2	103	-	-	7	21	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	15	-	-	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	-	12	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	24	-	1	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	2	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年17週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	2	-	-	-	-	7	56	1	19	-	-	-	-	-	-	4	161
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	4	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	18
神奈川県	1	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年17週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	18	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	1	28	-	-	-	35
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	4
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年17週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	6460	1.38	210	0.07	3370	1.12	15469	5.13	6014	1.99	681	0.23	1767	0.59	2300	0.76	43	0.01
北海道	862	3.75	5	0.03	322	2.22	361	2.49	143	0.99	32	0.22	40	0.28	94	0.65	1	0.01
青森県	339	5.22	25	0.60	62	1.48	241	5.74	66	1.57	4	0.10	91	2.17	31	0.74	1	0.02
岩手県	268	4.32	1	0.03	20	0.53	154	4.05	57	1.50	-	-	7	0.18	22	0.58	-	-
宮城県	370	4.40	1	0.02	54	1.06	316	6.20	83	1.63	21	0.41	35	0.69	39	0.76	-	-
秋田県	314	5.71	1	0.03	30	0.86	187	5.34	52	1.49	-	-	56	1.60	26	0.74	-	-
山形県	285	5.94	2	0.07	75	2.50	163	5.43	101	3.37	3	0.10	31	1.03	39	1.30	3	0.10
福島県	67	0.84	-	-	35	0.76	271	5.89	124	2.70	13	0.28	52	1.13	36	0.78	1	0.02
茨城県	3	0.03	1	0.01	54	0.73	194	2.62	93	1.26	27	0.36	67	0.91	35	0.47	1	0.01
栃木県	4	0.06	1	0.02	34	0.74	170	3.70	77	1.67	-	-	46	1.00	29	0.63	-	-
群馬県	32	0.32	2	0.03	85	1.37	296	4.77	99	1.60	2	0.03	34	0.55	50	0.81	-	-
埼玉県	90	0.36	17	0.11	196	1.26	783	5.02	320	2.05	26	0.17	119	0.76	159	1.02	1	0.01
千葉県	31	0.16	3	0.02	198	1.55	493	3.85	310	2.42	8	0.06	40	0.31	97	0.76	2	0.02
東京都	7	0.04	2	0.01	86	0.61	522	3.68	139	0.98	26	0.18	36	0.25	77	0.54	1	0.01
神奈川県	22	0.07	8	0.04	183	0.89	813	3.95	369	1.79	47	0.23	127	0.62	188	0.91	-	-
新潟県	189	2.28	35	0.70	86	1.72	330	6.60	164	3.28	8	0.16	55	1.10	39	0.78	6	0.12
富山県	84	1.75	-	-	96	3.31	149	5.14	121	4.17	5	0.17	40	1.38	21	0.72	-	-
石川県	70	1.46	2	0.07	32	1.10	381	13.14	103	3.55	28	0.97	41	1.41	25	0.86	1	0.03
福井県	23	0.72	3	0.14	36	1.64	178	8.09	61	2.77	1	0.05	10	0.45	13	0.59	-	-
山梨県	58	1.41	-	-	30	1.20	109	4.36	27	1.08	-	-	9	0.36	6	0.24	-	-
長野県	58	0.67	1	0.02	104	1.93	333	6.17	83	1.54	3	0.06	66	1.22	24	0.44	1	0.02
岐阜県	15	0.21	-	-	48	1.02	108	2.30	62	1.32	-	-	17	0.36	21	0.45	-	-
静岡県	48	0.35	3	0.03	103	1.20	380	4.42	197	2.29	4	0.05	78	0.91	83	0.97	-	-
愛知県	49	0.25	3	0.02	174	0.96	707	3.88	273	1.50	47	0.26	53	0.29	160	0.88	1	0.01
三重県	28	0.38	-	-	61	1.36	289	6.42	145	3.22	-	-	54	1.20	41	0.91	-	-
滋賀県	37	0.70	3	0.09	9	0.28	126	3.94	67	2.09	2	0.06	20	0.63	22	0.69	-	-
京都府	12	0.10	1	0.01	61	0.80	489	6.43	89	1.17	1	0.01	46	0.61	43	0.57	1	0.01
大阪府	45	0.15	13	0.07	146	0.75	832	4.27	311	1.59	28	0.14	90	0.46	128	0.66	2	0.01
兵庫県	23	0.12	10	0.08	103	0.80	828	6.47	282	2.20	27	0.21	75	0.59	112	0.88	-	-
奈良県	18	0.33	1	0.03	30	0.86	118	3.37	58	1.66	6	0.17	30	0.86	15	0.43	-	-
和歌山県	4	0.08	-	-	16	0.52	255	8.23	44	1.42	4	0.13	9	0.29	17	0.55	1	0.03
鳥取県	12	0.41	2	0.11	24	1.26	363	19.11	54	2.84	1	0.05	14	0.74	23	1.21	1	0.05
島根県	49	1.29	3	0.13	16	0.70	111	4.83	34	1.48	59	2.57	18	0.78	10	0.43	-	-
岡山県	55	0.65	-	-	19	0.35	219	4.06	88	1.63	5	0.09	10	0.19	23	0.43	-	-
広島県	35	0.29	13	0.17	65	0.87	425	5.67	124	1.65	17	0.23	9	0.12	56	0.75	1	0.01
山口県	338	4.83	5	0.10	69	1.41	440	8.98	104	2.12	9	0.18	45	0.92	41	0.84	-	-
徳島県	65	1.71	-	-	23	1.00	99	4.30	28	1.22	2	0.09	8	0.35	13	0.57	2	0.09
香川県	111	2.18	-	-	20	0.63	177	5.53	70	2.19	18	0.56	22	0.69	27	0.84	-	-
愛媛県	20	0.31	-	-	58	1.49	301	7.72	76	1.95	6	0.15	26	0.67	45	1.15	1	0.03
高知県	8	0.16	1	0.03	45	1.45	162	5.23	41	1.32	114	3.68	11	0.35	21	0.68	-	-
福岡県	1192	6.02	6	0.05	213	1.77	802	6.68	424	3.53	6	0.05	27	0.23	120	1.00	8	0.07
佐賀県	251	6.44	1	0.04	36	1.57	74	3.22	69	3.00	2	0.09	5	0.22	41	1.78	-	-
長崎県	229	3.27	-	-	18	0.41	168	3.82	90	2.05	1	0.02	23	0.52	21	0.48	1	0.02
熊本県	294	3.63	17	0.35	63	1.29	292	5.96	119	2.43	1	0.02	25	0.51	40	0.82	1	0.02
大分県	114	1.97	1	0.03	25	0.69	347	9.64	102	2.83	-	-	23	0.64	33	0.92	2	0.06
宮崎県	164	2.73	5	0.14	62	1.68	432	11.68	126	3.41	5	0.14	8	0.22	51	1.38	1	0.03
鹿児島県	32	0.33	11	0.18	43	0.72	464	7.73	231	3.85	5	0.08	18	0.30	28	0.47	1	0.02
沖縄県	36	0.62	1	0.03	2	0.06	17	0.50	114	3.35	57	1.68	1	0.03	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年17週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	117	0.04	519	0.17	584	0.19	3399	1.13	8	0.01	665	1.06	2	0.00	3	0.01	20	0.04
北海道	1	0.01	-	-	1	0.01	78	0.54	-	-	27	0.93	-	-	-	-	-	-
青森県	6	0.14	3	0.07	44	1.05	71	1.69	-	-	10	0.91	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	52	1.37	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	2	0.04	-	-	88	1.73	1	0.10	4	0.40	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	-	-	1	0.03	70	2.00	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	2	0.07	-	-	113	3.77	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	1	0.02	-	-	13	0.28	75	1.63	-	-	12	1.00	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	7	0.09	28	0.38	54	0.73	-	-	47	2.94	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	2	0.04	60	1.30	-	-	8	0.67	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	4	0.06	13	0.21	68	1.10	1	0.07	48	3.43	-	-	-	-	-	-
埼玉県	4	0.03	17	0.11	31	0.20	95	0.61	-	-	27	0.77	-	-	-	-	-	-
千葉県	5	0.04	16	0.13	65	0.51	129	1.01	-	-	40	1.21	-	-	1	0.08	-	-
東京都	-	-	19	0.13	8	0.06	91	0.64	-	-	19	1.36	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	2	0.01	4	0.02	28	0.14	166	0.81	1	0.02	61	1.45	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	6	0.12	1	0.02	123	2.46	-	-	10	1.67	-	-	-	-	1	0.08
富山県	-	-	3	0.10	19	0.66	99	3.41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	8	0.28	-	-	38	1.31	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	2	0.09	9	0.41	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	7	0.28	51	2.04	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	2	0.04	1	0.02	121	2.24	-	-	21	2.33	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	3	0.06	20	0.43	31	0.66	-	-	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	4	0.05	20	0.23	90	1.05	-	-	12	0.60	-	-	-	-	-	-
愛知県	12	0.07	26	0.14	166	0.91	184	1.01	-	-	18	0.51	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	11	0.24	44	0.98	1	0.08	10	0.83	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	11	0.34	31	0.97	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.14
京都府	4	0.05	1	0.01	3	0.04	45	0.59	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	62	0.32	22	0.11	108	0.55	1	0.02	15	0.29	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	-	-	11	0.09	8	0.06	119	0.93	-	-	36	1.00	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	1	0.03	1	0.03	4	0.11	61	1.74	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	1	0.03	38	1.23	-	-	6	1.50	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	5	0.26	14	0.74	29	1.53	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40
島根県	-	-	8	0.35	-	-	16	0.70	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.06	8	0.15	5	0.09	84	1.56	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
広島県	7	0.09	14	0.19	4	0.05	60	0.80	-	-	30	1.50	-	-	-	-	1	0.05
山口県	1	0.02	45	0.92	-	-	36	0.73	-	-	13	1.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	-	-	33	1.43	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.03	10	0.31	37	1.16	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	17	0.44	-	-	66	1.69	-	-	16	2.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	7	0.23	-	-	16	0.52	-	-	11	3.67	1	0.13	-	-	3	0.38
福岡県	52	0.43	41	0.34	12	0.10	116	0.97	-	-	44	1.69	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	33	1.43	1	0.04	22	0.96	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	12	0.27	1	0.02	59	1.34	2	0.25	15	1.88	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	34	0.69	3	0.06	17	0.35	-	-	9	1.00	-	-	-	-	2	0.13
大分県	-	-	25	0.69	1	0.03	69	1.92	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	52	1.41	3	0.08	118	3.19	-	-	14	3.50	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	3	0.05	10	0.17	-	-	135	2.25	-	-	5	0.83	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	2	0.06	-	-	84	2.47	-	-	12	1.20	-	-	1	0.14	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年17週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	57	0.12	6	0.01	18	0.04
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	1	0.20
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	1	0.10	-	-	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	4	0.40	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	3	0.33	-	-
千葉県	5	0.38	-	-	4	0.31
東京都	-	-	-	-	2	0.08
神奈川県	-	-	-	-	4	0.36
新潟県	1	0.08	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	2	0.40
石川県	-	-	-	-	2	0.40
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	2	0.20	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.08	-	-	1	0.08
三重県	1	0.11	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.13	1	0.07	1	0.07
兵庫県	2	0.15	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	2	0.40	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	3	0.60	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	3	0.50	-	-	-	-
高知県	1	0.13	-	-	-	-
福岡県	4	0.27	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	4	0.33	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第17号 平成14年5月17日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。